

平成 30 年度 事業実施報告書

I 国際交流の活発化 2,520,229 円

※決算額は管理費部分を除く純事業費を記載（以下同様）

1. 外国人の受入拡大事業 1,897,814 円

本県とのつながりが深く、県が重点的に交流を進めている北東アジア地域について、当該地域と交流実績のある関係団体と連携しながら、民間レベルでの相互交流の一層の拡大を図った。

(1) 北東アジア友好交流促進事業

ア 中国黒龍江省との友好交流促進事業

日本語教師派遣支援事業〔県委託事業〕

黒龍江省への日本語教師 2 名の派遣に対し助成を行った。

イ モンゴルとの友好交流促進事業

(ア) モンゴル国内に設立された「モンゴル・新潟友好協会」及びモンゴル・日本人材開発センターと連携し、モンゴル国で日本語を学ぶ学生を対象に、ウランバートル市において「2018 “新潟賞” 日本語スピーチコンテスト」を開催した。

最優秀賞受賞者を、平成 31 年 4 月に副賞の新潟旅行に招待する。

【スピーチコンテスト】

期日：9 月 13 日（木）

会場：モンゴル・日本人材開発センター

参加者：8 名（聴衆約 200 名）



2018 “新潟賞” 日本語スピーチコンテスト

(イ) モンゴルへの技術協力事業

(特活) 新潟県対外科学技術交流協会ほか関係団体とともに実行委員会を組織し、次の事業を実施した。

【モンゴル国中小企業等への技術協力事業】

〔新潟・国際協力ふれあい基金事業〕

モンゴルにおける製造業を中心とする技術力の向上及び地域の経済発展に貢献することを目的に、研修生を受け入れた。

・実行委員会構成団体：

新潟県対外科学技術交流協会、新潟県(国際課)、

(公財)環日本海経済研究所、(公財)新潟県国際交流協会

(2) 留学生就職支援セミナー

新潟県内の大学や専門学校等で学ぶ留学生を対象に、日本での就職活動に必要な基礎知識や在留資格に関する留意事項など、就職情報を提供するセミナーを開催するとともに、参加企業からの自社紹介などを行った。

- ・期日及び会場：11月2日(金)、朱鷺メッセ
- ・参加者：留学生 104 名、企業関係者 11 社 17 名
- ・内容：第1部 講演

「日本の就職活動とは～留学生が知っておくべき基礎知識～」

新潟新卒応援ハローワーク 上席職業指導官 遠藤 洋介 氏

第2部 講演「留学生の就職に伴う在留資格」

東京入国管理局新潟出張所 統括審査官 松下 江織 氏

第3部 講演「OBからのアドバイス」

公益財団法人環日本海経済研究所 経済交流推進員

蔡 聖錫 氏

第4部 参加企業の紹介



留学生就職支援セミナー

2. アジアを知る事業 443,517円

(1) 国際理解セミナー

多様な姿で急速に発展し、世界の中で重要な役割を果たすようになってきているアジアの社会・文化等を学ぶ国際理解セミナーを、県内大学の教授等を講師として、県内5地区で計8回開催した。

ア 新潟市

①「現代のモンゴル」

株式会社本間組 新潟本社 ナムスライ バヤンムンフ 氏

・期日及び会場：9月17日(月・祝)、朱鷺メッセ

・参加者：36名

②「数字と写真でひも解く日中の観光と経済のいま」

公益財団法人環日本海経済研究所

調査研究部研究員 経済学博士 南川 高範 氏

・期日及び会場：9月24日(月・祝)、朱鷺メッセ

・参加者：24名

③「アジアからの留学生たち」

新潟大学准教授 足立 祐子 氏

・期日及び会場：10月8日(月・祝)、朱鷺メッセ

・参加者：32名

④「ロシアを探る旅～最近の経済事情から～」

新潟経営大学教授 イワン ツェリッシェフ 氏

・期日及び会場：11月23日(金・祝)、駅南キャンパス「ときめいと」

・参加者：34名



国際理解セミナー(現代のモンゴル)

イ 新発田市

⑤「新発田のインバウンド・アウトバウンドと台湾」

新潟国際情報大学准教授 小宮山 智志 氏

・期日及び会場：12月16日(日)、生涯学習センター

・参加者：15名

ウ 南魚沼市

⑥「アメリカのなかのアジアーアジア系米国人の実像ー」

北海道大学准教授 渡辺 将人 氏

・期日及び会場：12月7日(金)、国際大学

・参加者：50名

エ 柏崎市

⑦ 「田中角栄元首相の外交力」

新潟工科大学教授 判澤 純太 氏

- ・期日及び会場：10月26日(金)、柏崎市市民プラザ
- ・参加者：33名

オ 上越市

⑧ 「韓国の文化について」

上越教育大学 助教 兪 期天 氏

- ・期日及び会場：9月1日(土)、上越市市民プラザ
- ・参加者：42名

3. 受け皿整備事業 178,898円

(1) ホストファミリー整備事業

国際理解の推進と海外からの来県者のホームステイ先の拡充を図るため、ホストファミリー講座及び受入れ体験説明会を開催した。また、参加者を対象に外国語指導助手(ALT)や留学生の1泊2日のホームステイ受入体験を実施した。

ア ホストファミリー講座・説明会

① 上越会場

- ・期日及び会場：8月4日(土)、上越市市民プラザ

② 柏崎会場

- ・期日及び会場：8月5日(日)、柏崎市文化会館アルフォーレ

③ 新潟会場

- ・期日及び会場：8月26日(日)、新潟県国際交流プラザ

参加者計：日本人32名、留学生・ALT 20名

イ ホームステイ体験

10月13日(土)～14日(日)他

- ・参加者：18家庭、留学生・ALT18名

※受入家庭に対し、受入1名につき3,000円を補助した。



ホストファミリー講座(柏崎会場)

II 国際協力活動の支援 7,137,273 円

4. 新潟・国際協力ふれあい基金事業 7,137,273 円

(1) NGO等への助成

海外の開発途上国などで活躍するNGOの人道援助活動等に対する財政支援等を通じ、新潟からの国際協力の推進を図ることを目的に、「新潟・国際協力ふれあい基金」の運用益をもとに助成金を交付した。

・助成実績：6件、計6,426,000円

(2) 基金運営

ア 審査委員会の運営

助成対象の審査等を行う審査委員会を開催した。

- ・期日：12月14日(金)
- ・会場：新潟県国際交流協会

イ 募金活動

市町村役場や県内各地の日帰り温泉施設及び宿泊施設等に引き続き募金箱の設置を依頼し、広く県民に「新潟・国際協力ふれあい基金」事業の周知を図るとともに、県民から基金への寄附を募った。

ウ 募金実績

(単位：円)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
募金額	122,786	109,576	98,748	93,487	100,714
累計	15,428,686	15,538,262	15,637,010	15,730,497	15,831,211

Ⅲ 多文化共生の支援 15,626,600 円

5. 国際理解推進事業 4,949,264 円

(1) 広報誌の発行

県民の国際理解を促進するため、県内における国際交流や多文化共生推進の取組を県民に紹介する広報誌「NIA Letter」を発行し、県内高校・大学や公共施設等に配付した。

- ・発行時期：8月(第15号)、12月(第16号)、平成31年3月(第17号)
- ・配付先：【日本語版】県内高校・大学等、公民館、図書館、市町村、民間団体等
計13,500部
【英語版】 県内大学等、公民館、図書館、市町村等 計3,500部

(2) 国際交流プラザ講座

新潟県国際交流プラザにおいて、JICA ボランティア経験者等が講師となり、国際協力活動等について紹介した。

- ・講座実施数：3回(高校、大学、団体各1回)

(3) 国際交流プラザでの展示等

県民の国際理解を促進するため、新潟県国際交流プラザにおいて各種展示やイベントを実施した。

- ① 夏休み国際交流プラザフェア
期間：7月21日(土)～8月26日(日)
- ② 子ども講座韓国編
期日：7月28日(土) 参加者：15名
- ③ 留学生交流委員との交流会
期日：8月4日(土) 参加者：10名
- ④ 子ども講座中国編
期日：8月18日(土) 参加者：7名
- ⑤ 子ども講座アメリカ編
期日：8月25日(土) 参加者：17名



夏休み国際交流プラザフェア
(子ども講座中国編)

(4) 国際理解教育推進協議会

県内の各学校における国際理解教育の推進を図ることを目的として、教育関係者や教育関係機関で構成する国際理解教育推進協議会を設置し、ともに活動を行っている。

また、協議会の総会を平成 31 年 3 月 7 日(木)に開催した。

(5) 国際理解教育プレゼンテーションコンテスト

学校や地域における国際理解に関する学習や活動についてプレゼンテーションを行うコンテストを新潟県国際理解教育推進協議会と連携して開催した。

コンテストは中学生部門と高校生部門に分けて実施し、副賞として各部門最優秀チームを海外スタディツアーに派遣した。

【プレゼンテーションコンテスト】

- ・期日及び会場：12月16日(日)、朱鷺メッセ
- ・参加チーム数：中学生部門 12、高校生部門 12
- ・来場者数：延べ 400 名
- ・最優秀賞：
 - 〈中学生部門〉新津第五中学校
(新潟市立新津第五中学校) チーム
「私って日本人？」
 - 〈高校生部門〉加茂農林高等学校フロンティアサポーターズ (FS)
(県立加茂農林高等学校) チーム
「農林高校版 SDG s スクールをめざして」



プレゼンテーションコンテスト

【スタディツアー】

- ・派遣期間：平成 31 年 3 月 25 日(月)～29 日(金)
- ・派遣先：台湾・台北市、嘉義市、台中市、基隆市
- ・参加者：生徒 9 名、指導者 2 名
- ・活動内容：呉鳳科技大学日本語学科学生との交流会及び学生寮宿泊体験、台北市・嘉義市・台中市・基隆市内見学(故宮博物院、烏山頭ダム、野柳地質公園、十分、九份)等

6. 在住外国人支援事業 3,229,196 円

(1) 外国人生活相談事業

主に県内の在住外国人が文化・習慣や制度の違い等から直面している生活上の諸問題の解決をサポートするため、通訳員を配置して相談業務を実施した。

また、月1回、行政書士が来所して相談に対応した。

- ・対応言語：5カ国語(日本語、英語、中国語、タイ語、タガログ語)
- ・相談件数：170件(延べ回数428件(来訪120件、電話308件))
- ・相談内容：在留手続き、労働、教育、結婚・離婚等

(2) 相談員・通訳員育成

県内で外国人生活相談に対応する相談員や通訳員の資質向上を図る研修会を実施した。

- ・期日及び会場：平成30年10月26日(金)、新潟県国際交流協会研修室
- ・講師：新潟県行政書士会 国際業務委員会委員長 南 直人 氏

(3) 相談関係機関との連携

ア 「1日入管インフォメーションセンター」の開設

主に外国人の在留資格等についての相談を受ける「1日入管インフォメーションセンター」を東京入国管理局とともに開設した。

- ・期日及び会場：6月8日(金)、新潟県国際交流協会
- ・相談件数：5件

イ 新潟県行政書士会との相談会の開催

在留資格等の専門的な分野を中心とする外国人相談会を新潟県行政書士会との共催により開催した。

- ・期日及び会場：11月19日(月)、東京入国管理局新潟出張所
- ・相談件数：7件

(4) 外国につながる児童生徒等教育支援

子どもたちが国籍にかかわらず安心して学び成長できる地域社会の実現を図るため、次の事業を実施した。

ア 外国につながる児童生徒及び保護者向け資料「日本の学校について～高校への進学など～」(10言語：日・英・中・韓・ロシア・インドネシア・タイ・タガログ・スペイン・ポルトガル)を更新し、ホームページに掲載した。

イ 外国につながる児童生徒及び保護者等を対象とし、通訳者等を交えた進路ガイダンスを開催した

・上越会場

期日及び会場：8月25日(土)、

上越市市民プラザ

参加者：5カ国

(中国、フィリピン、タイ、
インドネシア、日本) 32名

・長岡会場

期日及び会場：11月23日(金・祝)、

長岡市国際交流センター「地球広場」

参加者：3カ国(中国、スペイン、フィリピン) 21名



進路ガイダンス(上越市)

ウ 教育相談員による電話教育相談(毎週火曜日・英・中・タイ)を実施した。

エ 新潟大学と連携して「新潟県外国につながる児童生徒等教育支援ネットワーク協議会(通称：新潟県多文化子どもネット)」において、課題の解決に向けて会議及び研修会を開催した。

・第1回 8月3日(金) 燕三条地場産業振興センター

・第2回 3月19日(火) 新潟大学駅南キャンパスときめいと

7. 留学生支援事業 7,448,140円

(1) 留学生国際交流活動促進支援事業

国際交流や多文化共生活動の活発化を図るため、国際交流等の活動に意欲のある県内各大学の私費留学生を大学からの推薦に基づき、審査委員会で選考し、留学生交流委員に任命した。

交流委員には活動支援金を交付し、国際交流に関するさまざまな活動に参加してもらうとともに、SNS等を活用して出身国への新潟県の情報発信を行ってもらった。

活動支援金：月額30,000円×12月×20名

任命式：平成30年4月8日(日)

活動報告会：平成31年3月11日(月)



留学生交流委員の活動
(夏休み国際交流プラザフェア)

Ⅳの1 基盤強化（民間活動活発化） 3,667,727円

8. 民間団体助成事業 2,466,921円

(1) 国際化推進活動助成金の交付等

ア 国際化推進活動助成金

民間団体等が実施する国際交流等の活動を支援し、地域における活動の一層の促進を図るため、活動助成金を交付した(年2回)。

- ・助成実績：民間団体等 13 団体、計 1,937,000 円
- ・事業内容：国際交流、人材育成、多文化共生推進等

イ 海外県人会等との青少年交流支援

県や関係団体と連携し、海外県人会等から協力を得ながら、海外で活躍する本県出身者との交流やスポーツ交流、ホームステイ等を実施した。

- ・海外県人会等の交流 1回
- ・ハワイ州少年野球チームとの交流
交流試合：7月14日(土)～16日(月・祝)
ホームステイ：7月14日(土)～15日(日)
参加者6家庭、ハワイ州少年12人

(2) 研修室等の貸出

民間団体の国際交流活動を促進するため、国際交流プラザや研修室の貸出を行った。

- ・利用時間：原則として平日の14時～21時、土日・祝日の9時～21時
- ・利用件数：40件

9. 民間団体ネットワーク構築事業 108,846円

(1) 国際交流連絡会議

県内3地域において、市町村や民間団体等と情報交換・意見交換を行う国際交流連絡会議を開催した。

- ① 上越会場 ・期日及び会場：4月25日(水)、上越市市民プラザ
・参加者：6団体9名
- ② 長岡会場 ・期日及び会場：4月26日(木)、まちなかキャンパス長岡
・参加者：14団体15名
- ③ 新潟会場 ・期日及び会場：4月27日(金)、朱鷺メッセ
・参加者：32団体43名

10. 在外県人会活動支援事業 1,091,960 円

ブラジル、アルゼンチン、ホノルル、ペルー、パラグアイの各新潟県人会に対し、活動を支援するための助成金を交付した。

団 体 名	助成額 (円)
ブラジル新潟県人会	450,000
アルゼンチン新潟県人会	150,000
ホノルル新潟県人会	150,000
ペルー新潟県人会	150,000
パラグアイ新潟県人会	150,000
合 計	1,050,000

Ⅳの2 基盤強化（人材育成） 1,873,611円

11. 人材育成事業 1,873,611円

民間国際交流団体の人材育成や次世代を担う若者の国際理解の推進を図るため、講座やワークショップ等を開催した。

(1) 災害時外国人支援人材育成事業

災害時の外国人支援や支援体制について共通認識を持ち、有事の際に速やかな連携が図れるようにするため、行政職員、社会福祉協議会担当者、在住外国人、留学生交流委員、当協会登録ボランティア等を対象とした研修を実施した。

- ・ 期日及び会場：

平成30年12月2日（日）、朱鷺メッセ

- ・ 内容：災害時外国人支援セミナー

（講演、ワークショップ）

- ・ 講師：名古屋外国語大学大学院講師

土井 佳彦 氏

（公社）中越防災安全推進機構地域防災力センター長 諸橋 和行 氏

（公財）柏崎地域国際化協会事務局長 清水 由美子 氏

- ・ 参加者：42名



災害時外国人支援セミナー（ワークショップ）

(2) 医療通訳育成支援事業

外国人に対する医療支援の専門家及び医療現場の方を講師に招き、現状や課題等について理解を深めるセミナーを開催した。

- ・ 期日及び会場：平成31年3月22日（金）、クロスパルにいがた

- ・ 講師：

MIC かながわ 副理事長 岩元 陽子 氏

新潟医療通訳センター代表

坂口 淳 氏（新潟県立大学教授）



外国人への医療支援に関するセミナー

・パネルディスカッション

コーディネーター：坂口 淳 氏

パネリスト：岩元 陽子 氏

渋川 健史 氏

(済生会新潟第二病院地域連携福祉センター

がん相談支援室長 医療ソーシャルワーカー)

佐々木 香織 氏 (りてらこや新潟 代表)

倉辻 忠俊 氏 (公益社団法人上越国際交流協会

じょうえつ外国人医療支援プロジェクト 代表)

・参加者：63名

(3) ボランティアバンクの運営

国際交流イベントを支援する意志のある者を「通訳・翻訳ボランティア」や「アースサポーター(イベント運営ボランティア)」としてボランティアバンクに登録し、主催者からの要請に基づきボランティア保険を付けて派遣した。

また、登録ボランティアに対する研修会を実施し、ボランティアの資質向上とボランティアバンクのさらなる活性化を図った。

ア 通訳・翻訳ボランティア、アースサポーターの活用

・通訳・翻訳ボランティア登録者数 231名

(英語 141名、中国語 51名、韓国語 22名、ベトナム語 5名、スペイン語 4名、モンゴル語 3名、ロシア語 3名、その他の言語 2名)

・アースサポーター登録者数 95名

・イベント等への派遣 要請 14件、派遣 43名

イ 通訳ボランティアセミナーの開催

登録者を対象に通訳技術の向上等を図るセミナーを開催した。

・期日及び会場：平成 31 年 3 月 3 日(日)、
朱鷺メッセ

・講師：大阪女学院大学国際英語学部
教授 高橋 絹子 氏

・参加者：73名



通訳ボランティアセミナー

(4) 国際交流ファシリテーター養成事業

〔新潟国際情報大学、敬和学園大学、新潟県立大学、上越教育大学、新潟大学連携事業〕

大学生 89 名（国情大 23 名、敬和大 12 名、県立大 22 名、上教大 22 名、新潟大 10 名）を国際交流ファシリテーターに委嘱し、小中学生・高校生等を対象に国際社会への関心と学習意欲を高めるための国際理解ワークショップを実施した。

- ・派遣実績：県内 31 校（小学校 13 校、中学校 6 校、中等教育学校 2 校、高等学校 10 校）
- ・テーマ：「世界の現実」、「世界の不平等」、「異文化理解」

(5) NGO スタッフ育成講座

国際交流・国際協力等を目的に設立された既存の NGO 団体のスタッフやこれから NGO 活動を始めたい人を対象とする研修会を（特活）にいがた NGO ネットワークに委託して開催し、NGO で活動する人材の育成を図った。

- ・期日及び会場：平成 31 年 3 月 2 日（土）、クロスパルにいがた
- ・テーマ：国際協力人材育成セミナー「SDGs を農業から考える～協生農法による貧困と環境問題の解決～」
- ・講師：太田 耕作 氏（一般社団法人シネコカルチャー 講師）

(6) 国際理解教育推進支援事業

県内における国際理解教育の充実・進展を図るため、小・中・高校の教職員等を対象とした国際理解教育セミナー及びワークショップを開催した。

① セミナー

- ・期日及び会場：8 月 9 日（木）新潟県立教育センター
- ・テーマ：地域・教室の多文化化と国際理解教育
- ・講師：山西 優二 氏（早稲田大学文学学術院 教授）

② ワークショップ

- ・期日及び会場：7 月 28 日（土）ながおか市民センター
- 9 月 29 日（土）クロスパルにいがた
- 11 月 10 日（土）上越教育大学
- 12 月 1 日（土）クロスパルにいがた

12. 広報・ライブラリー運営事業 463,198 円

県内団体や一般県民等に対し、国際交流や国際協力に関する情報及び当協会の事業等に関する情報を広く提供した。

(1) 広報誌の発行(再掲)

県内における国際交流や多文化共生推進の取組を紹介することにより県民の国際理解を促進するため、県民を対象とした広報誌「NIA Letter」を発行し、県内高校・大学等や公共施設等に配付した。

(2) 年次報告書の発行

当協会の事業について周知を図るとともに関係機関から事業推進への協力を得るため、平成 29 年度事業についてまとめた年次報告書を作成し、関係各所に配布した。

(3) PR 記事掲載

イベント「夏休み国際交流プラザフェア」の開催及び賛助会員の募集について朱鷺メッセのフリーペーパー「トツときガイド」を活用してPRした。

(4) プラザ・ライブラリー運営

各種情報資料(図書、ビデオ、CD、雑誌、新聞、各種団体刊行物)を整備し、県民の利用に供した。

ア 蔵書等の状況

- ・ 図書
- ・ 各種団体発行物
(一財)自治体国際化協会、他都道府県・政令指定都市国際交流協会が作成した調査、会議、フォーラム等の報告書等
- ・ 開発途上地域での NGO 活動を伝える映像資料等(ビデオ、DVD、CD、CD-ROM)
- ・ 雑誌
- ・ 新聞 新潟日報、ジャパントイムズ、(人民日報、イズベスチア)
- ・ その他 (県内外の NGO や全国の国際交流協会の機関誌、語学学習用教材等)

イ 蔵書等の活用

各種情報資料(図書、ビデオ、CD、雑誌、新聞、各種団体刊行物)を県民の利用に供した(貸出は賛助会員のみ)。

13. I T活用促進事業 362,880 円

多言語ホームページ(日本語、英語、中国語、韓国語、ロシア語)の運営を行い各種情報を掲載した。また、県協会ニュースや関連団体の県内外イベント情報等を定期的にメールマガジンとして配信するとともに、Facebook でも情報を発信した。

14. 賛助会員募集事業 56,451 円

(1) 賛助会員数の推移

(単位：会員数)

	26年度末	27年度末	28年度末	29年度末	30年度末
個人	42	38	39	42	39
団体	65	61	58	63	56
計	107	99	97	105	95

(2) 賛助会員へのサービス

賛助会員向けに主に次のサービスを実施した。

個人会員	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社利用割引 ・レストラン等利用割引 ・朱鷺メッセ関係施設等利用割引 (県立万代島美術館割引券利用件数 20 件) (県立近代美術館割引券利用件数 1 件)
団体会員	<ul style="list-style-type: none"> ・研修室の貸出(40 件) ・国際化推進活動助成金の交付 (13 団体、総額 1,937,000 円) ・印刷機の利用
個人会員 団体会員 共通	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント案内等の送付 ・国際情報ライブラリーの図書貸出 ・国旗貸出(57 件)、 ふれあい地球人ボックス貸出(12 件)

15. 国旗等貸出事業 35,084 円

国際交流活動を行う賛助会員や団体に対して、世界各国の国旗や地球人ボックス(民族衣装・グッズ等)の貸出を行った。

- ・貸出実績：国旗 23 団体 57 件
地球人ボックス 9 団体 12 件